

【C年】

復活節第五主日

全能の神よ、あなたをまことに知ることは、永遠の命に至る道です。どうかわたしたちが、み子イエス・キリストは道であり、真理であり、命であることを深く知って、み跡に従い、永遠の命に至る道を絶えず進むことができましますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

聖書

朗読者 「聖書は使徒言行録第十三章四十四節から」

44 次の安息日になると、ほとんど町中の人が主の言葉を聞くようとして集まって来た。45 しかし、ユダヤ人はこの群衆を見てひどくねたま、口汚くののしって、パウロの話すことに反対した。46 そこで、パウロとバルナバは勇敢に語つ

た。「神の言葉は、まずあなたがたに語られるはずでした。だがあなたがたはそれを拒み、自分自身を永遠の命を得るに値しない者に行っている。見なさい、わたしたちは異邦人の方に行く。47 主はわたしたちにこう命じておられるからです。

『わたしは、あなたを異邦人の光と定めた、あなたが、地の果てにまでも

救いをもたらすために。』

48 異邦人たちはこれを聞いて喜び、主の言葉を賛美した。そして、永遠の命を得るように定められている人は皆、信仰に入った。49 こうして、主の言葉はその地方全体に広まった。50 ところが、ユダヤ人は、神をあがめる貴婦人たちが町のおもだった人々を扇動して、パウロとバルナバを迫害させ、その地方から二人を追いつ出した。51 それで、二人は彼らに対して足の塵を払い落とし、イコニオンに行った。52 他方、弟子たちは喜びと聖霊に満たされていた。

朗読者 「聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第一四五編

- 1 わたしの神、王よ、あなたをあがめ＝ わたしは世々にみ名をたたえる
- 2 日ごとにあなたをたたえ＝ 世々にみ名をたたえる
- 3 主は偉大、すべてを超えてたたえられる方＝ その偉大さは計り知れない
- 4 今の世は次の世にあなたのみ業を語り告げ＝ あなたの偉大な力を告げ知らせる
- 5 人びとはあなたの栄光の輝きを告げ＝ わたしは不思議なみ業を思い巡らす
- 6 人びとはあなたの恐るべき力を語り＝ わたしはその偉大さを宣べ伝える
- 7 人びとはあなたの豊かな恵みを思い＝ 喜んであなたの正義を歌う
- 8 主は恵みと憐れみに満ち＝ 怒るに遅く、慈しみ深い主の恵みはすべてのものに及び＝ 慈しみは造られたすべてのものの上にある

使徒書

朗読者 「使徒書はヨハネの黙示録第十九章一節から」

- 1 その後、わたしは、大群衆の大声のようなものが、天で

こう言うのを聞いた。「ハレルヤ。救いと栄光と力とは、わたしたちの神のもの。」

4 そこで、二十四人の長老と四つの生き物とはひれ伏して、玉座に座っておられる神を礼拝して言った。

「アーメン、ハレルヤ。」

5 また、玉座から声がして、こう言った。

「すべて神の僕たちよ、

神を畏れる者たちよ、

小さな者も大きな者も、

わたしたちの神をたたえよ。」

6 わたしはまた、大群衆の声のようなもの、多くの水のとどろきや、激しい雷のようなものが、こう言うのを聞いた。

「ハレルヤ、

全能者であり、

わたしたちの神である主が王となられた。

7 わたしたちは喜び、大いに喜び、神の栄光をたたえよう。小羊の婚礼の日が来て、

花嫁は用意を整えた。

8 花嫁は、輝く清い麻の衣を着せられた。

この麻の衣とは、聖なる者たちの正しい行いである。」

9 それから天使はわたしに、「書き記せ。小羊の婚宴に招かれていた者たちは幸いだ」と言い、また、「これは、神の真実の言葉である」とも言った。

朗読者 「使徒書を終わります。」

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖ヨハネによる福音書第十三章三十一節以下に記

された主イエス・キリストの福音。 主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

31 さて、ユダが出て行くと、イエスは言われた。「今や、人の子は栄光を受けた。神も人の子によって栄光をお受けになった。32 神が人の子によって栄光をお受けになったのであれば、神も御自身によって人の子に栄光をお与えになる。しかも、すぐにお与えになる。33 子たちよ、いましばらく、わたしはあなたがたと共にいる。あなたがたはわたしを捜すだろう。『わたしが行く所にあなたがたは来ることができない』とユダヤ人たちに言ったように、今、あなたがたにも同じことを言っておく。34 あなたがたに新しい掟を与える。互

いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。35 互いに愛し合うならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる。」

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」